

三菱製鋼グループ パーパス策定のお知らせ

三菱製鋼株式会社(代表取締役社長執行役員 山口 淳、東京都中央区)は、このたび、社会における存在意義として、三菱製鋼グループの「パーパス」を策定いたしました。また併せて、パーパスの実現に向けて、大切にしている価値観として、「バリュー」を定めましたので、お知らせいたします。

【三菱製鋼グループのパーパス】

想いをカタチにする力で 挑み ^{あす}未来を 支えつづける

Turning our passion into reality,
We take on challenges to support a sustainable future.

三菱製鋼グループは創業以来、ばねや特殊鋼をはじめとし、素材から製品に広がる知見と技術を磨き続けてきました。「素材から製品まで」をつなぐ私たちならではのものづくりは、社会や産業の基盤を支え、信頼という実績を積み重ねています。その中心にあったのは、粘り強く時代の変化に挑戦する人の想いです。私たちは、お客さまや社会とともに想いを実現し、価値を創造し続けてきました。その確かな技術と信頼を礎に、持続可能な社会の実現のために、挑戦し、成長し、価値を届け続けたい。

三菱製鋼グループは、これまでも、これからも、すべての人々により豊かな未来をもたらすために、社会を支える存在であり続けます。

【三菱製鋼グループのバリュー】

技術とものづくり

- 確かな技術と揺るぎないものづくりの力

価値の共創

- お客さまとの価値共創で社会に応える

信頼と誠実

- 信頼を育む、誠実な関係を築く

人と成長

- 人を活かし、ともに成長する

挑戦と革新

- 変化への挑戦とイノベーション創出

【パーパスの策定にあたって】

パーパス策定にあたっては、子会社および海外拠点赴任者を含む十数名の若手・中堅社員を中心に部署横断的なプロジェクトメンバーを立上げ、約1年をかけ、社内外のステークホルダーとの対話を重ねながら検討を進めてまいりました。最初に、全従業員向けに、「当社らしさ」や「当社のありたい姿」等についてアンケートを実施し、海外子会社のローカルスタッフや製造現場を含む 3,000 名超の従業員の声を集めました。自由記述欄には 550 を超えるコメントがあり、自分たちの存在意義に対する関心の高さを実感しました。次いで、お客さまをはじめとする社外のステークホルダーの皆さまへ、「当社への期待」等についてヒアリングを行いました。これらの結果や120 年余に及ぶ当社グループの歴史を改めて振り返った上で、プロジェクトメンバーを主体とするワーキンググループで、議論をさらに深めました。その後、社内外で集約した意見をもとに、経営陣や取締役会との議論を経たうえで、今回の公表へと至りました。

今回策定したパーパスを社内外に浸透させていくことで、従業員をはじめとするステークホルダーと当社の想いを共有し、全社一丸となった当社の持続的成長に向けた未来への挑戦を、一層加速させることができると考えています。

今後も、三菱製鋼グループは、今回策定したパーパス「想いをカタチにする力で 挑み ^{あす}未来を 支えつづける」のもと、従業員一人ひとりがお客さまや社会と真摯に向き合い、事業活動を通じて新たな価値を創出し続けることにより、社会から信頼され、必要とされる企業グループを目指してまいります。

プロジェクトでの議論の様子

